

2017年度(平成29年度) 自己点検・評価報告書



2017年6月

学校法人シモゾノ学園

大宮国際動物専門学校

2017年度(平成29年度) 学校法人シモゾノ学園 自己点検・評価表 (ISO 29990対応版 Ver. 2.0a)

実施日: 2017年(平成29年) 6月 23日

学校名: 大宮国際動物専門学校

1. 学校の教育目標

- 専門性の追求
動物を取り巻く環境をしっかりと理解し、動物業界で求められる知識・技術を追求し、戦力となる人財を育成します。
- 道徳性・人間性の育成
感謝の心を失わず、挨拶をはじめコミュニケーション能力の高い、品格の備わった人財を育成します。
- 動物福祉の実践
動物の生命及び尊厳を守る精神を養い、自然・環境・動物との共存共生を実践し、広く社会に貢献できる人材を育成します。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

【1】教育関連事項

- (1) 教育課程編成委員会を通じた教育目標と教育課程の質の向上
- (2) 職業実践専門課程の認定に係る企業との学生の企業連携実習の強化
- (3) 職業実践専門課程の認定に係る企業との教職員の教育力・専門力の向上
- (4) 教職員研修や研究授業などを通じた教育力・専門力の向上
- (5) シラバス・コマシラバスを基軸とした、授業の仕方の質の向上
- (6) 動物看護師の公的資格制度の推進
- (7) 退学率の低減
- (8) 就職サポートの強化
- (9) 学生募集の強化

【2】学校運営関連事項

- (1) 職業実践専門課程の継続的認定
- (2) 内部監査を含めた、自己点検・評価委員会による学校運営管理の質の向上
- (3) 学校関係者評価委員会による学外評価を通じた学校運営の質の向上
- (4) 施設・設備整備5か年計画を通じた、教育環境の整備
- (5) 非常時に対する対応の強化
- (6) 学校運営に関する規程等の見直し
- (7) 教職員の就業環境の見直し
- (8) 学費等の納付金の適正な受け取りと主要経費の効率的活用を図り、学校運営の健全性を維持する予算行為計画の実施

【3】社会貢献と連携事業関連事項

- (1) 国際どうぶつ祭りの継続的な開催
- (2) 各行政機関・業界団体等と連携した、地域社会貢献を図る公開講座等の協力強化
- (3) 業界・企業・外部団体等と連携した、社会貢献型のイベント等の協力強化
- (4) 社会人等を対象とした生涯学習の需要の検討

3. 評価項目の達成及び取組み状況

1 教育理念・目標			適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1
1	1	理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
1	2	学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか	④ 3 2 1
1	3	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④ 3 2 1
1	4	学校における職業教育の特色は明確になっているか	④ 3 2 1
1	5	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4 ③ 2 1

① 課題・今後の改善方策

- 「学生の手引き」・「保護者会用手引き」・「保護者説明会の資料(スライド)」については記載項目に不足があり、改善が求められる。
 - 理念・目的・育成人材像については上記各媒体の中に取り入れ、特色・将来構想については学校案内書、ホームページへの記載で周知とする。
- 保護者会に欠席した保護者への情報共有・発信等が不足しており、改善が求められる。
 - 保護者会の欠席者に対する保護者用手引きの配布などで広く周知を図る。

② 特記事項

- シモゾノ学園としては「学校案内書」・「ホームページ」・「学生の手引き」・「保護者用手引き」・「保護者会用の資料(スライド)」に理念・目的・育成人材像についての記載があり、学生、保護者に十分に周知されている状態を「4」評価とする。

2 学校運営			適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1
2	1	専修学校設置基準及び職業実践専門課程認定要件に沿った適切な運営がなされているか	④ 3 2 1
2	2	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④ 3 2 1
2	3	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④ 3 2 1
2	4	目的等に沿った事業計画が策定されているか	④ 3 2 1
2	5	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
2	6	人事、給与に関する制度は整備されているか	④ 3 2 1
2	7	教職員と非常勤講師等との定期的な情報共有を図っているか	④ 3 2 1
2	8	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 ③ 2 1
2	9	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	④ 3 2 1
2	10	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④ 3 2 1
2	11	教育方針や目標を含むマネジメントシステムの継続的な適合性、妥当性、有効性を確保するためにマネジメントレビューを実施しているか	④ 3 2 1
2	12	学生や保護者、その他利害関係者からの苦情・要請等への対応など、不適合を特定し、対処する手順(予防処置及び是正処置)を確立しているか	④ 3 2 1
2	13	利害関係者が不満を抱いている場合や、利害関係者と学校側とで意見の相違がある場合の相談受付方法を案内しているか	④ 3 2 1

① 課題・今後の改善方策

- クレームを含む様々な問い合わせを内容の性質による区分けと対応部署が定められているが、より適切な対応ができるように、クレームを含む様々な問い合わせに対する対応基準となるマニュアルの整備を行い、様々な問い合わせに学校基準でより対応できるようにする。
- 問い合わせ・クレーム対応マニュアルの整備を行う。

② 特記事項

- 本務教職員と兼務教員との教育等に関する情報共有に関して、何をいつどのように行うのかの基準を設ける必要がある。

3 教育活動			適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1			
3	1	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
3	2	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
3	3	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
3	4	動物関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④	3	2	1
3	5	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
3	6	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
3	7	Can-Doを意識した各科目の授業シラバスが作成されているか	④	3	2	1
3	8	動物関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
3	9	シラバスあるいは講義要項などが事前に学生に配布されているか	4	③	2	1
3	10	実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか	④	3	2	1

3	11	学生によるアンケートなどで、適切に授業評価を実施しているか	④	3	2	1
3	12	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
3	13	職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1
3	14	授業評価の実施・評価体制はあるか	4	③	2	1
3	15	閲覧権限の設定がなされ、個人情報保護への配慮がされているか	④	3	2	1
3	16	教育の質向上に役立つ改善点を明確にするために、教育を提供している状況(学習環境等)を確認・検証しているか	4	③	2	1
3	17	教職員のコンピテンシーを職務記述書と関連付けながら評価し、それらの評価結果を記録しているか	④	3	2	1
3	18	動物関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④	3	2	1
3	19	職員の能力開発のための研修等が行われているか(研修等の効果を評価し、文書により記録しているか)	④	3	2	1
3	20	動物関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	④	3	2	1

① 課題・今後の改善方策

- シラバスの共有を効率よく周知できる環境整備を行う必要がある。
 - インターネットにて共有できる方法を検討する。
- 授業評価の評価体制を整えるにあたり、①学生からの授業アンケート・②授業担当者自身のセルフチェック・③授業参観の3つの評価の項目の一部共通化を行う。
 - 評価表の再整備を行う。
- 教職員の研修報告書の書式の再整備を行う。
 - 研修報告書の再整備を行う。

② 特記事項

- 特になし。

4 学習成果			適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1
4	1	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか	④ 3 2 1
4	2	評価目標ならびに想定される評価範囲を記述できているか	④ 3 2 1
4	3	学生の評価だけでなく、教職員やカリキュラムの評価も含め、評価方法及び手段、スケジュール及び根拠を記述しているか	4 ③ 2 1
4	4	成績証明書等、評価結果が社会的通用性を高める形式となっているか	④ 3 2 1
4	5	ニーズ調査結果に基づき目的(到達目標)を設定し、目的に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか	4 ③ 2 1
4	6	学習サービス(教育・訓練)を受託または委託する場合、目的、要望、最終目標及び要件を明確にしているか	④ 3 2 1
4	7	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	④ 3 2 1

① 課題・今後の改善方策

- 教職員の評価を行うにあたり、教職員のコンピテンシー(必要能力)の作成が必要。
 - 教育目標を達成するのに必要な教育担当者のコンピテンシーの整備を順次行う。
- ニーズ調査として、企業と卒業生に区分けるが、調査数と精度を高める。
 - 調査数を高められる取り組みを行う。

② 特記事項

- 特になし。

5 学生支援			適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1			
5	1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
5	2	学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
5	3	保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
5	4	卒業生への支援体制はあるか	④	3	2	1
5	5	図書室・図書コーナー等、ホットライン、カウンセリングサービス、コンピュータの利用、メンタリングなどの学習サポートについて案内しているか	④	3	2	1
5	6	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
5	7	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
5	8	課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
5	9	学生の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1

① 課題・今後の改善方策

- 卒業生からの相談記録をまとめ、卒業生支援に活用できるように取り組む。
- 相談記録をまとめ、共有できる環境整備を行う。

② 特記事項

- 特になし。

6 教育環境			適切・・・4	ほぼ適切・・・3	やや不適切・・・2	不適切・・・1
6	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1
6	2	学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか。	④	3	2	1
6	3	教職員に対して、学習指導のための教育訓練や安全管理のための避難訓練を実施しているか	4	③	2	1
6	4	防災に対する体制は整備されているか	4	③	2	1
6	5	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1

① 課題・今後の改善方策

- 本務教職員に対する教育訓練や安全管理に関わる対応は行えているが、兼務教員に対する安全管理に関わる対応をより強化する必要がある。
- 兼務教員に対する安全管理に関わる事項を整理し、講師会等にて共有する。

② 特記事項

- 特になし。

7 学生の受入れ募集		適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1	
7	1	学生募集活動は、適正に行われているか(例えば、入学願書などの契約書を取り交わし、それらの文書を適切に管理しているか)	④ 3 2 1
7	2	履歴書(学歴、所有資格など)を適切に入手し、適切な管理を行っているか	④ 3 2 1
7	3	学校案内等には選抜方法など、入学に必要なスキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか	④ 3 2 1
7	4	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	④ 3 2 1
7	5	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④ 3 2 1
7	6	評価手段及びその基準、修了時に発行される証明書等について説明しているか	④ 3 2 1
7	7	学力の不足や障がいに関する特別なニーズを特定しているか	④ 3 2 1
7	8	教育の履行、人的・物的資源の提供、個人情報の取り扱い、安全管理など、学校側の義務と責任を学生と保護者に案内しているか	④ 3 2 1
7	9	学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

① 課題・今後の改善方策

- 卒業要件、取得可能資格についての要件は学校案内書および情報公開の学校基本情報にて説明しており、また対面では学校説明会等での説明はしているが、具体的な評価手段及びその基準の詳細説明までは至っていない。
- 入学相談室マニュアルに取得資格に関する評価手段及び基準を明記・学内共有し、説明を行う。

② 特記事項

- 特になし。

8 教育の内部質保証システム			適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1
8	1	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 ③ 2 1
8	2	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
8	3	文書管理規程、文書管理リスト(ファイル管理簿)ならびに決裁の流れを含む決裁規程(文書処理規程)が文書化されているか	④ 3 2 1
8	4	自己点検・評価や内部監査の実施と問題点の改善に努めているか	④ 3 2 1
8	5	監査や評価基準の知識を有する適任者により適切に監査され、当該課程・部署の責任者に監査結果を報告しているか	④ 3 2 1
8	6	内部監査での指摘事項として、改善すべき点を明確にしているか	④ 3 2 1
8	7	自己点検・評価結果を公開しているか	④ 3 2 1

① 課題・今後の改善方策

- 個人情報保護に関する規程を整備する。
 - すでに作成している個人情報保護に関する規程(案)をもとに、整備を行う。

② 特記事項

- 特になし。

9 財務			適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1
9	1	財務について会計監査が適正に行われているか	④ 3 2 1
9	2	財務情報公開の体制整備はできているか	④ 3 2 1
9	3	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④ 3 2 1
9	4	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

① 課題・今後の改善方策

→ 情報公開に関する規程の整備を行う。

② 特記事項

→ 特になし。

10 社会貢献・地域貢献		適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1	
10	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④ 3 2 1
10	2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④ 3 2 1
10	3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	④ 3 2 1

① 課題・今後の改善方策

- 地域に対する公開講座は開講実績もあり評価できるが、教育訓練の受託について本校の対応の検討を行う。
 - 教育訓練の受託に関する制度等の理解を深め、本校での対応を検討する。
- 国際動物専門学校で実施した形態の公開講座の開講が求められる。
 - 国際動物専門学校で開講した形態の地域公開講座の実施を具体的に検討する。

② 特記事項

- 特になし。